

揚子江開放ノ経緯

揚子江沿岸ノ開港場及立寄港

目次

第二節 揚子江開放ノ経緯……………二四三頁

第一、揚子江開放ノ経緯……………二四三

第二、揚子江沿岸所在ノ開港場及立寄港……………二四五

第三、支那及各國間條約中特ニ揚子江ニ關係アル規定……………二五〇

第二節 英支間條約取極……………二五〇

第一、南京條約……………二五〇

(一) 舟山不割讓ニ關スル取極……………二五〇

(二) 天津條約……………二五〇

(三) 租界ニ關スル取極……………二五二

(四) 漢口租界設置(二八六)及還付(一九二七)……………二五二

(イ) 九江租界設置(二八六)及還付(一九二七)……………二五二

(ロ) 鎮江租界設置(二八六)及還付(一九三〇)……………二五二

(ハ) 粘嶺所領地還付協定(一九三五)……………二五二

S 1.1.1.0 - 27 3893

674

REEL No. A-0272

二三八

(五) 芝罘條約(一八七〇)……………二五三

(六) 重慶開港ニ關スル協定(一八九〇)……………二五三

(七) 揚子江沿岸不割讓ニ關スル宣言(一八九八)……………二五四

(八) 一九〇二年通商條約(一九〇二)……………二五五

第三、日支間條約取極……………二五五

(一) 日清媾和條約(明治二八、四、一七)……………二五六

(二) 日清通商航海條約(明治二九、七、二二)……………二五六

(三) 北京議定書(明治二九、一〇、一九)……………二五六

(四) 日本專管居留地設置ニ關スル取極……………二五七

(五) 日清追加通商航海條約(明治三〇、一〇、八)……………二五八

(六) 上海停戰協定(昭和七、五、五)……………二六〇

第三、其ノ他各國トノ取極……………二六一

(一) 佛 國 間……………二六一

(イ) 黃埔條約(一八四四)……………二六一

二三九

(ロ) 天津條約(一八五八)……………二六一

(ハ) 上海(一八四九)及漢口(一八九〇)租界設置……………二六一

(二) 米 支 間……………二六一

(イ) 望 厦 條約(一八四四)……………二六一

(ロ) 通商關係擴張ニ關スル條約(一九〇三)……………二六二

(三) 獨 立 支 間……………二六二

(イ) 獨 支 通商條約(一八六一)……………二六二

(ロ) 外國貿易ニ對スル内國稅ニ關スル公債(一八八〇)……………二六三

(ハ) 漢口租界ノ設置(一八九五)及回收(一九二〇)……………二六三

(四) 葡 國 支 間……………二六三

(五) 露國漢口租界設置(一八九六)ト拋棄(一九二四)……………二六三

第四、揚子江沿岸地方ニ關係アル國際取極……………二六四

(一) 英 佛 間……………二六四

(イ) 四川雲南兩省ニ關スル宣言書(一八九六)……………二六四

(ロ) 資本家ノ合作協定(一九〇五)……………二六四

S 1.1.1.0 - 27 3894

AS-O.1.1.1 675

REEL No. A-0272

二四〇

- (イ) 漢口擴張租界ニ關スル交換公文(一八九九)……………二六五
- (二) 英米資本家間協定(一八九九)……………二六五
- (三) 英獨間……………二六五
- (イ) 倫敦資本家間協定(一八九八)……………二六五
- (ロ) 英獨揚子江協定(一九〇〇)……………二六六
- (四) 英露間「スコット・ムラヴィエフ」協定(一八九九)……………二六六
- (五) 甯湘鐵道ニ關スル日英交渉(大正二三年)……………二六六
- (揚子江流域權益ニ關スル英國政府ノ見解)(一八九〇)……………二六六
- (六) 共同租界ニ關スル取極……………二六八
- (イ) 上海共同租界設置(一八四五)……………二六八
- (ロ) 蕪湖共同租界設置(一九〇五)……………二六八
- (七) 黃浦江改修ニ關スル取極……………二六九

第三節 揚子江沿岸貿易及内地水路航行……………二七〇

- 第一、沿岸貿易及内地水路航行ニ關スル條約上ノ規定……………二七〇
- 第二、内地水路航行ニ關スル規定……………二七三

第四節 外國軍艦ノ航行ト陸戰隊……………二七七

- 第一、外國軍艦ノ航行權……………二七七
- 第二、陸戰隊ノ上陸及駐屯……………二七九

S 1.1.1.0 - 27 3895
 8580

676

第一節 揚子江開放ノ經緯

第一、揚子江開放ノ經緯

一、揚子江開放ニ對シテ早クヨリ英米其ノ他各國トモ夫々努力スル所アリシモ、殊ニ英國ハ不閉ノ努力ヲ續ケタリ。阿片戰爭ノ結果締結セラレタル一八四二年ノ南京條約第二條ニ於テ英ハ支那ヲシテ廣東、厦門、福州ト共ニ上海及寧波ノ五港ヲ開放セン。長江方面ニ對スル發展ノ基地ヲ獲得シタリ。即チ

Art. II. His Majesty the Emperor of China agrees that British subjects, with their families and establishments, shall be allowed to reside, for the purpose of carrying on their Mercantile pursuits, without molestation or restraint at the Cities and Towns of Canton, Amoy, Foochow, Ningpo, and Shanghai, and

一、上海開放セラレテ以來英、米、佛等各國ノ船舶ハ上海ヲ基地トシテ長江方面ニ發展ノ機ヲ狙ヒ種々努力ヲ試ミ居タルガ時偶々太平天國ノ亂起ルアリ其ノ混亂ニ乘ジ英米ノ船舶ハ揚子江下流地方殊ニ鎮江附近マデハ屢々湖上シタリ。一八五四年四月米國公使ハ清國政府ニ對シ同國船舶ノ鎮江湖上ヲ要求シタルモ拒絕セラレタリ。他方英國船モ支那側屢々抗議ニ拘ラス金山、馬山等上流地方ニ湖江シ、米國船亦鎮江浦口方面ニ停泊スルノ事實アリ。清國政府ハ外國船ガ五港以外ノ地ニ赴クハ

S 1.1.1.0 - 27 3896

677

二四四
條約違反アリト爲シ英米佛等各國當局ニ對シ其ノ下航退去ヲ要求シタリ。其ノ後英米兩國ノ共同シテ條約改訂交渉ニ當リ鎮江、南京及漢口等ノ開放乃至揚子江一帯ニ於ケル通商貿易ヲ執拗ニ要求交渉ヲ重ネタルモ、支那側ハ内地ノ開放ノ原則ヲ堅持シ頑強ニ之ヲ拒絶シ續

一、條約改訂問題ヲ因トシ「アロー」號事件ヲ緣トシテ英佛聯合軍ノ京津侵入トナリ其ノ結果一八五八年英、米、佛、露ノ諸國トノ間ニ天津條約締結セラレタリ。此ノ交渉ニ於テモ支那側ハ内地開放ヲ肯ヒズ、從テ揚子江開放ニ付テモ反對ノ態度ヲ堅持シタルガ敗戦ノ結果ナル以上其ノ主張ヲ貫徹スルヲ得ズ、英支天津條約第十條ニハ左ノ通り規定シ遂ニ長江ノ開放ヲ約スルニ至レリ。

Art. X. British Merchant ships shall have authority to trade upon the Great River (Yangtze). The Upper and Lower Valley of the River being, however, disturbed by out-laws, no Port shall be for the present opened to trade, with the exception of Chinkiang, which shall be opened in a year from the date of the signing of this Treaty.

So soon as Peace shall have been restored, British Vessels shall also be admitted to trade at such Ports as far as Hankow, not exceeding three in number, as the British Minister, after consultation with the Chinese Secretary of State, may determined shall be Ports of Entry and Discharge.

一、同年締結セラレタル佛支天津條約第六條ニ於テハ揚子江開放ニ付テハ明文規定ヲ設ケザリシモ南京ノ開放ヲ規定シ、尙同條未段ニ於テ南京開放ハ同地ニアル叛徒ガ追放セラレタル後行ハルベキ旨附言セリ。

第二、揚子江沿岸所在ノ開港場及立寄港

一、上述經緯ニ依リ揚子江ハ先ヅ英及佛兩國ニ對シ開放セラレ右ハ最專國條款ニ依リ各國トモ之ニ均霑シ得ル所ナルガ(例ヘバ米國ノ如キ從來英國ト歩調ヲ併セ強硬ニ揚子江開放ヲ主張シ來リ天津條約交渉ニ當リテモ之ヲ主張シタルニ拘ラズ同條約中ニハ揚子江ニ關シ何等規定ヲ設ケズ但シ其ノ第十四條ハ「米國民ハ廣東、香港、上海及其ノ他今後他國又ハ米國トノ條約ニ依リ貿易ノ爲開放セラレベキ港又ハ場所ニ往來シ、」云々ト規定シ、第三十條ニ於テ廣汎且無條件ノ最惠國條款ヲ設ケタリ、其ノ後各國中ニハ支那トシテ條約締結ニ當リ揚子江沿岸ノ各港ノ開放ヲ夫々約セシメタルモノアリ。

揚子江及其ノ支流沿岸ニ所在スル開港場及立寄港並ニ右開放ヲ規定セル條文ヲ列記スレバ大要左ノ如シ。

- (イ) 開港場
- 上海(江蘇)

英支南京條約(一八四二)二條、佛支黃埔條約(一八四三)二條、米支望厦條約(一八四四)

三條、葡支通商條約(一八六二)十條、露支天津條約(一八五八)三條、
寧波(浙江)

上海(同)

鎮江(江蘇)

英支天津條約(一八五八)十條、獨支通商條約(一八六二)六條、葡支通商條約(一八六二)十條

芝罘(安徽)

九江(江西)

獨支通商條約(一八六二)六條、葡支通商條約(一八六二)十條、英支天津條約(一八五八)十條

英支天津條約(一八五八)十條、獨支通商條約(一八六二)六條、葡支通商條約(一八六二)十條

宜昌(湖北)

英支芝罘條約(一八七六)三款

重慶(四川)

英支重慶開港協定(一八九〇)、英支芝罘條約(一八七六)三款、日清媾和條約(一八九五)六條

沙市(湖北)

日清媾和條約(一八九五)六條

長沙(湖南)

日支追加通商條約(一九〇三)十條、英支通商條約(一九〇二)第八條

岳州(湖南)

自開(一八九八)

吳淞(江蘇)

武昌(湖北)

湘日通商條約(一八九八)六條

常德(湖南)

蘇州(江蘇)

日清媾和條約(一八九五)六條

杭州(江蘇)

日清媾和條約(一八九五)六條

安慶(安徽)

英支通商條約(一九〇三)八條

英支芝罘條約(一八七〇)三款及日支通商條約(一八九〇)五條ニ依リ從來立寄港ナリ。

蕪湖縣(四川)

英支通商條約(一九〇三)八條

(註)一八九八年以來自開港場ナリ。

立寄港

大通(安徽)

英支芝罘條約(一八七六)三款、日支通商條約(一八九〇)五條

湖口(江西)

英支芝罘條約(一八七六)三款、日支通商條約(一八九〇)五條

武昌(湖南)

英支芝罘條約(一八七六)三款、日支通商條約(一八九〇)五條

陸溪口(湖南)

英支芝罘條約(一八七六)三款、日支通商條約(一八九〇)五條

(註一)日支通商條約五條ハ吳淞ヲ立寄港ト規定シアルモ同港ハ一八九八年開港場トナレリ。

(註二)以上五港ハ開港場ナルモ一八九八年長江通商規定第二條ニ依リ外國船舶ハ旅客貨物ノ積卸ヲ爲スコトナレリ。

通州(江蘇)長江通商規則(一八九八)

太興(江蘇)同

江陰(江蘇)同

宜興(江蘇)同

黃子崗(湖北)同

黃州(湖北)同

荊河口(湖北)同

新堤(湖北)同

(註)以上八港亦開港場ナルモ一八九八年長江通商規定第二條ニ依リ船客昇降所トシテ外國船舶ハ船客及其ノ携帶品(有税品アルトキハ取扱セラル)ヲ積卸スルコトナレリ。

第二節 支那ト各國間條約中揚子江ニ關係アル規定

第一、英支條約取極

英支間ニ於ケル條約其ノ他取極中特ニ揚子江ニ關係アル條項ヲ摘記スレバ左ノ如シ。

- (一) 南京條約(一八四二) 上海及寧波ノ開放(第二條)
- (二) 舟山不割讓ニ關スル取極(一八四六) 舟山列島ハ由來英國ガ長江沿岸貿易ニ對スル地位ヨリ其ノ領有ヲ欲シタル地ニシテ阿片戰爭ニ際シテ之ヲ占領シタルモ南京條約ノ結果香港ヲ得テ舟山列島ノ領有ハ之ヲ思ヒ止リ之ヲ還付撤兵シ、但シ不割讓ヲ約セシメタルモノナリ。
- (イ) 英國軍隊ガ舟山島ヲ撤退シタル上ハ清國ハ同島ヲ他國ニ讓與セザルコトヲ約ス。
- (ロ) 英國ハ舟山島ヲ侵入者ノ攻撃ヨリ保護シ清國ノ領有ヲ復セシム。
- (三) 天津條約 揚子江ノ開放(天津條約第十條、第二節參照) 八六六、式 清國政府ハ揚子江ヲ通商上ニ開放スル際同江ヲ潮ル密貿易ヲ豫防スル爲必要ヲ生ズベキ一切ノ

措置ヲ執ルベシ(一八五八年「通商規則ヲ包含スル協定」第十未段)。

(四) 租界ニ關スル取極

揚子江沿岸ノ英國租界ハ一八六二年長江開放ノ實施ト同時ニ漢口九江及鎮江ノ三開港場ニ設置セラレタルガ右ハ何レモ一九二七年乃至一九二九年ノ間ニ於テ支那側ニ還付セラレタリ。

- (イ) 漢口租界ノ設置(一八六二)及還付(一九二七) 漢口租界ハ一八六二年三月ノ協定ニ依リ設置、後一八九八年擴張セラレタルガ後一九二七年二月武漢政府ノ排英運動ニ禍セラレ支那暴民及北伐軍隊ノ爲占領セラレ、同二月十九日陳友仁「オーヤレン」協定ニ依リ支那側ニ還付セラレ第三特別區トナレリ、尤モ同地域ニ付左記取極ヲ存ス。
- (1) 舊英租界ハ特別第三區ヲ爲シ右特區章程ハ漢口ノ五租界區域(舊獨露租界、英租界及現日佛租界)ヲ一區トシテ管理スル辦法成立スル迄有效トス。
- (2) 第三特別區行政ハ七名ヨリ成ル參事會(外交部任命ノ議長一人、選舉ニ依ル英支人委員各三名)ニ依リ執行セラレ、一八二七年參事會ニ占領セラレ、一八二七年二月二十三日協定ニ依リ舊租界内土地ニ關シ英國領事ニ於テ發給シ居タル地券ト引換ニ支那側官憲ニ於テ改メテ永代借地券ヲ發給シ當分ノ中地稅ハ從來ノ儘トス。
- (ロ) 九江租界設置(一八六二)及還付(一九二七) 九江租界ハ一八六二年三月ノ協定ニ依リ設置、後一九二七年二月二十三日協定ニ依リ舊租界内土地ニ關シ英國領事ニ於テ發給シ居タル地券ト引換ニ支那側官憲ニ於テ改メテ永代借地券ヲ發給シ當分ノ中地稅ハ從來ノ儘トス。

S 1.1.1.0 - 27 1883

390n

1150

681

本租界ハ漢口租界ト同時ニ設置セラレタルモ同一「ライン」ニ依リ支那側ニ還付セラレタリ。尤モ舊租界ニ付テハ單ニ前記(イ)ノ(3)ノ條件アルノミ。

(ハ) 鎮江租界設置(一八六二)及還付(一九二九)ノ條ニ依リ、一九二七年北伐軍ニ占領セラレ、次テ一九二九年「エヴ

ラント」王正廷間協定ニ依リ還付セラレタリ。尙尤モ左記條件ヲ附ス。

(1) 前記(イ)ノ(3)參照。

(2) 英國商館ハ製造品、商品及原料ヲ倉庫ト江上ノ解又ハ船舶間ヲ「バンド」ニ横切リ運搬スル

ノ權ヲ引續キ保有ス。

(ニ) 粘嶺所領地ノ還付(一九三五)ノ條ニ依リ、一九二五年英人宣教師「リットル」ハ避暑地トシテ粘嶺ノ土地ヲ購入シ外國人ニ轉租シ行政委員

會ヲ組織シ事實上租界ニ準ズル地位ヲ有シタリ。

然レ共一九三五年「モス」漢口總領事蔣廬山管理局長間協定ニ依リ支那側ノ回收スル所トナレリ。

(1) 「リットル」地券引換ニ支那官憲ヨリ永代借地券ヲ發給ス。

(2) 一般福祉ニ關スル事項ニ付諮問委員會(中三名ハ外人トス)ヲ七年ヲ限リ設置ス。

(3) 教會、禮拜堂、墓地ハ免稅トス。

(五) 芝罘條約(一八七六)第三款通商(一)ニ規定スル事項左ノ如シ。

(イ) 宜昌、蕪湖ノ開放

(ロ) 英國政府ハ重慶ニ常駐スベキ官吏ヲ派シ四川省ニ於ケル英國通商ノ情況ヲ監視セシム英國商人

ハ汽船ノ入港スルニ至ラザル限リ重慶ニ常駐シ又ハ建物若ハ倉庫ヲ開設スルコトヲ得ズ汽船ガ重

慶迄溯航シ得タルトキハ更ニ協議シテ取極ヲ爲ス。

(ハ) 揚子江岸上ノ大通、安慶、湖口、武穴、陸溪口、沙市ハ内地通商ノ場所ニシテ開港場ニ非ザル

モ外國汽船ハ乘客又ハ物品ノ陸揚及船積ノ爲寄港スルコトヲ許サレ但シ地方民ノ小船ニ依ルベク

且地方民ノ貿易ニ關スル現行章程ニ服スベキモノトス。

(ニ) 半稅免除ヲ有スル產物ハ立寄港ニ於テ之ヲ汽船ニ積込ムコトヲ得ルモ賣捌ノ爲陸揚スルコトヲ

得ズ右ノ場所ニ於テハ通過稅免狀ヲ有スル輸出入品ハ其ノ免狀ヲ示ストキハ夫々ニ付其ノ免除ヲ

受クベキモ其ノ場合ニハ如何ナル物品タルヲ問ハズ土地ノ官憲ニ依リ適宜ニ釐金ヲ課セラルベ

ク。

(ホ) 外國人ハ寄港場トシテ列舉セル場所ニ常駐シ又ハ商舖若ハ倉庫ヲ開設スルコトヲ得ズ。

(六) 重慶開港ニ關スル協定(一八九〇)ノ條ニ依リ、

一八九〇年三月前記(五)ノ(ロ)重慶開放ニ關シ左ノ通協定ス。

6 1.1.1.0-27 3901

682

- (イ) 重慶ヲ他ノ條約港ト同一ノ條件ヲ以テ開放ス英國臣民ハ宜昌重慶間運輸ノ爲支那船ヲ賃借シ又ハ自ラ支那式船舶ヲ裝備スルハ自由ヲ有ス。
- (ロ) 上記船舶ニ依リ宜昌重慶間ヲ運搬セラルル貨物ハ條約及長江通商規則ニ依リ處理セラレ。
- (ハ) 上記船舶ノ所持スベキ書類、其他交通ニ關スル規則ハ宜昌稅關監督、道臺、稅務司ニ於テ英國領事ト協議ノ上定ム。
- (ニ) 船舶ノ納稅ニ關スル規則違反ノ處罰ハ、清國汽船ガ航行シ得ルニ至ラバ英國汽船モ往來ヲ許サル。
- (七) 揚子江沿岸不割讓ニ關スル宣言
揚子江開放ニ對シ英國ハ不斷ノ努力ヲ續ケ同方面ニ特殊ノ優越的地位ヲ確立シタルガ、日清戰爭後各國ノ競テ利權ヲ爭ヒ佛國ハ東京隣接諸省不割讓(一八九八年四月)並ニ東京雲南間鐵道敷設權及廣州灣租借ヲ約束セン(一八九八年四月)又長江上流ニ進出ノ氣運ヲ示シ、獨逸ハ膠州灣ヲ租借シ(一八九八年三月)山東省ニ優越的地位ヲ確保シ長江下流ヨリ中流ヲ窺ヒ、露國ハ遼東半島ヲ租借シ(一八九八年三月)京漢線ニ沿ヒ揚子江中流地方ヲ存カサントスルノ情勢アリ斯カル情勢ニ下ニ於テ英國ハ揚子江沿岸ニ於ケル地位ハ晏如タルヲ得ズ因テ英國公使「サー、マクドナルド」ハ一八九八年二月九日附ヲ以テ總理衙門ニ對シ(イ)英國ハ清國ガ揚子江沿岸地方ヲ清國ノ領有トシテ保持スル

1098 683

ニトシテ重視ス(ロ)英國ハ清國ガ揚子江沿岸ノ何レノ地方ヲモ租與擔保其ノ他名儀ノ如何ヲ問ハズ他國ニ讓與セザル旨ヲ保證ヲ得度旨申入レタルニ對シ十月附ヲ以テ清國政府ハ揚子江流域ヲ他國ニ對シ擔保ニ供シ租與シ又ハ割讓セザル旨回答シタリ。

尙同時ニ支那側ヲシテ約諾セシメタル英國人總稅務司ノ地位ニ關スル取極モ右不割讓約束ト一體ヲ爲シテ同方面ニ於ケル英國人ノ地位ヲ確保スルノ意圖ニ出デタルモノナリ。

- (イ) 宜昌重慶間航路施設(第五條第二項、第二ノ五)日支追加通商航海條約ノ規定參照)
- (ロ) 長沙、萬縣及安慶ノ開放(第八條第三項)
- (ハ) 內水航行ニ關スル規定(第十條第一項、第二ノ五)日支追加通商航海條約ノ規定參照)
- (ニ) 一九〇二年支通商條約、一九〇三年支通商條約及一九〇三年日支追加通商航海條約ハ何レモ關和開港ニ關スル最終規定書ノ規定ニ基キ上海ニ於テ英、米、日各國トノ間ニ行シテ交渉ノ結果成立セルモノナルニ付共通點多ク前記(イ)及(ロ)ハ日清條約之ヲ基準トシ居ルモノナリ。
- (七) 日支追加通商航海條約ノ規定參照
- (イ) 日支追加通商航海條約ノ規定參照
- (ロ) 日支追加通商航海條約ノ規定參照
- (ハ) 日支追加通商航海條約ノ規定參照
- (ニ) 日支追加通商航海條約ノ規定參照

S 1.1.1.0 - 27 3902

888

(一) 日清講和條約(一八九五、四、二七)中ノ規定左ノ如シ。
清國ニ於テ現ニ各外國ニ向テ開キ居ル所ノ各市港ノ外ニ日本國臣民ノ商業住居工業及製造業ノ爲ニ沙市、重慶、蘇州及杭州ヲ開クヘシ但シ現ニ清國ノ開市場開港場ニ行ハル所ト同一ノ條件ニ於テ同一ノ特典及便益ヲ享有スヘキモノトス。

(イ) 日本國政府ハ前記市港中何レノ處ニモ領事官ヲ置クノ權ヲ有ス(第六條第一)。

(ロ) 旅客及貨物運送ノ爲メ日本國汽船ヲ揚子江上流宜昌―重慶間、上海ヨリ吳淞江及運河ニ入り蘇州杭州ニ至ル間ニ迄擴張スヘシ(第六條第二)。

(二) 日清通商航海條約(一八九六、七、二一)中ノ規定左ノ如シ。
日本國船舶ハ現ニ立寄港ナル安慶、大通、湖口、武穴、陸溪口及吳淞並ニ將來立寄港トセラレヘキ總テノ場所ニ於テ外國貿易ニ關スル現行章程ニ從ヒ旅客商品ヲ積卸セシムル爲メ之ニ寄港スルコトヲ得。

清國ノ諸開港及立寄港外ノ港ニ不法ニ進入シ若シ沿海及河筋ニ於テ密商ニ從事スル船舶ハ其ノ積荷ト共ニ清國政府ニ於テ之ヲ沒收ス(第五條)。

(三) 清國新開市場ニ日本專管居留地設置其ノ他ニ關スル北京議定書(一八九六、一〇、一九)中ノ規定左ノ如シ。

(イ) 新開通商市港場ニ日本專有ノ居留地ヲ置クコトヲ安定シ道路管轄及地方警察ノ實權ハ日本領事ニ專屬スルモノトス(第一條)。

(ロ) 光緒二十二年八月三日上海稅關ヨリ發布セシ洋商蘇杭滬三處通商試辦章程内其ノ汽船又ハ汽船歴入又ハ所有ノ船隻ニ關スル事ハ日本ト安商シテ定ムヘシ之ヲ商定スル迄ハ適用シ得ヘキ限リハ長江章程ヲ施行スルモノトス(第二條)。

(ハ) 清國政府ハ日本政府ヨリ請求ノ上ハ早速上海(天津、厦門)漢口等處ニ日本專有ノ居留地ヲ設クルコトヲ允ス(第二條第二項)。

(四) 揚子江沿岸日本專管居留地設置ニ關スル取極
日清講和條約第六條ニ依リ清國ハ沙市、重慶、蘇州及杭州ノ開放ヲ約シ(一)ノ(イ)參照)タルヲ以テ同地ニ我專管居留地設置方交渉シタルモ地方官憲ノ態度者切ラズ因テ北京ニ於テ交渉ノ結果北京議定書ノ成立トナリ新開市場ニ我專管居留地設置(三)ノ(イ)參照)並上海及漢口ニ同シク居留地設置(三)ノ(ハ)參照)ヲ承諾スルニ至レリ。尤モ上海ニ付テハ既ニ佛租界及共同租界設置セラレアリ適當ノ地ヲ得ラズ且設置ノ實益モ少ナカルベカリシニ因リ實現セズシテ已ミタリ。

(イ) 杭州日本居留地取極書(明治二九、九、二七)

(1) 居留地取極書(明治二九、九、二七)

二五七

S 1.1.1.0 - 27 3903

二五六

684

- (2) 追加取極 (明治三〇、五、一三)
- (3) 道路工事費支拂、風俗治安取締、大街道取締、取極實施期日ニ關スル交換公文 (明治三〇、五、一三)
- (イ) 蘇州日本居留地取極書
- (ロ) 居留地取極書 (明治三〇、三、五)
- (2) 地稅ニ關スル交換公文 (明治三〇、三、五)
- (イ) 漢口日本居留地取極書
- (ロ) 居留地取極書 (明治三二、七、一六)
- (2) 居留地擴張取極 (明治四〇、二、九)
- (イ) 沙市日本居留地章程 (明治三一、八、一八)
- (ロ) 重慶日本居留地取極書 (明治三四、九、二四)
- (五) 日清追加通商航海條約 (一九〇三、一〇、八) 中ノ規定左ノ如シ。
 - (イ) 清國政府ハ日本國汽船所有者ガ自己ノ費用ヲ以テ揚子江宜昌重慶間ノ急流曳上ノ爲ニ設備ヲ爲スコトヲ承諾ス然レ共右ハ四川、湖南、湖北各省人民ノ利害ニ關スル所アルヲ以テ其ノ設置前清國海關ノ認可ヲ得ルヨトヲ要ス。

3904 685

- 右設備汽船及清國形船舶共ニ之ヲ使用スルコトヲ得ヘキモノニシテ水路又ハ清國形船舶ノ自由航行若シテ沿岸道路人民ノ交通ヲ妨クル事ト得ズ右設備ニ關シテハ清國海關ニ於テ制定スヘキ特別規則ニ從フヘシ (第三條)。
- (ロ) 清國政府ハ内地航行ニ適スル各種ノ日本汽船カ清國海關ニ届出テノ上内地水路汽船航行規則及同追加規則ニ依リ貿易ノ目的ヲ以テ清國海關港場ヨリ其ノ届出タル内地ニ航行スルコトヲ承諾ス (第三條)。
 - (註) 本條ニ付テハ附屬交換公文ヲ以テ日本側委員ヨリ該條ハ日本各種汽船ハ其ノ大小ヲ論ゼズ總テ内地水路ヲ航行シ得ルモノナレバ該規則ニ從ヒ必要ナル證書ヲ受ケタル上内地諸港ニ往復スルコトヲ得ベク清國政府ハ如何ナル場合ト雖モ此等汽船ノ内地航行ヲ阻害禁止スルヲ得ズトノ意ヲタルハ勿論ノ儀ニ付右ノ證書ニ基キ取扱フヘキ旨總稅務司ニ訓令アリ庶旨中入レ、清國委員ハ前記ノ證書ヲ了承シ訓令方取計フト共ニ只從來ノ日本國船舶ハ百二十噸乃至四百噸ナリト旨附言ス。
 - (イ) 光緒三十四年五月ノ内地水路汽船航行規則及同年七月ノ追加規則ハ實行上不便ノ箇處アルヲ以テ清國政府ハ之ニ修正ヲ加ヘ本條約ニ右新規則ヲ添付スヘキコトヲ約ス此等ノ規則ハ相互ノ同意ニ依リ變更セラレル迄ハ其ノ效力ヲ有スルモノトス (第八條)。
 - (註) 追加内地水路汽船航行規則ハ全文十箇條ヨリ成リ、本條約附屬書第一ヲ爲ス (第三節參照)。
 - (ニ) 清國政府ハ本條約批准交換ノ日ヨリ六箇月以内ニ既ニ外國貿易ニ開カレタル港市ト同一ノ條件ヲ以テ湖南省長沙府ヲ外國貿易ノ爲ニ開クヘキコトヲ約ス同開港場在留外國人ハ清國居住民ト同

3904 685

役場又ハ警察ヲ設置スルコトヲ得ス(第十條第二項)。又該條約港區域内ニ自己ノ地方

(六) 上海停戰協定(昭和七、五、五)中ノ規定左ノ如シ(第十條第一項)。

(イ) 双方ノ軍ハ其ノ統制ノ及フ限リ一切ノ且有ラズル形式ヲ敵對行爲ヲ上海ノ周圍ニ於テ停止ス

(第二條)。

(ロ) 支那軍隊ハ左記地點以內ニ進駐セズ。蘇州府、無錫縣、常州府、鎮江府、揚州府、南通府、

(1) 蘇州府、河、北、

安亭鎮ノ正南方蘇州河上ノ一點ヨリ北方安亭鎮ノ直方ノ「ククリク」ノ西岸ニ沿ヒ重仙橋

ニ至リ、次デ北方ニ「ククリク」ヲ越エ沙頭ノ東方四基米ノ一點ニ至リ次テ西北方揚子江上ノ

泔浦江ニ至リ且之ヲ合ム(第一附屬書)。

(2) 蘇州河以南、

(3) 泔浦江、東、

揚子江ヨリ曹家路ヲ經テ輕便鐵道ニ沿ヒ西方ニ進ミ同輕便鐵道カ西北ニ屈曲スル地點ヨリ陣家

宅股家腰靈家濱ノ各南側ニ「ククリク」ヲ經テ「スタグダード」石油會社ニ至ル(委員會宛支那

武官書翰)。

第三、其ノ他各國トノ條約

上述第二節並ニ第二節第一英支及第二日支間條約規定以外各國ガ特ニ揚子江ニ關シ規定ヲ設ケタルモ

ノヲ摘記スレバ左ノ如ク甚ダ少シ。尤モ右ノ各國トノ條約ハ何レモ最惠國條款ヲ有シ一國ニ許與セラ

レタル特權權利ハ無條件且包括的ニ他國モ享受シ得ルニ起因ス。

(一) 佛、支、間

(イ) 黃埔條約(一八四四)

崑波及上海ノ開放(第二條)

(ロ) 天津條約(一八五八)

南京開放(第六條) 武六津條約(一八五八)

(イ) 上海(一八四九)及漢口(一八九六)租界設置

(1) 上海租界

一八四九年四月上海道台ハ佛國領事ノ要求ニ基キ上海ノ土地ヲ割シ土地賃借ニ關スル布告ヲ發

シ茲ニ佛租界設置セラル。其ノ後英、米、佛三租界ヲ合シ共同租界設置ノ議起リタルモ佛國ハ

之ヲ肯ゼズ獨自ノ工部局ヲ設ケ一八六九年租界章程ヲ公布シタリ。然レハ佛國ハ共同租界ニ對シ

二六二

6 1.1.1.0 - 27 3905

686

1.1.1.0 - 27 3905

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

686

現行租界章程ハ一九二七年改正セラルル租界行政委員会(支那人ノ參與ヲ認ム)ニ依リ
 執行セラレ、
 (一) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (二) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (三) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (四) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (五) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (六) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (七) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (八) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (九) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十一) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十二) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十三) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十四) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十五) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十六) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十七) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十八) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (十九) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。
 (二十) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ廢止セラレ支那側地方院及高等法院設置セ
 ラレタリ。

(一) 外國貿易ニ對スル内國稅ニ關スル公債(二八八〇)
 (二) 長江稅關規則ノ條項ニ依リ外國人ハ貨物運送ノ爲清國ノ船舶ヲ僱入ルコトヲ許容セララルベシ
 (三) 漢口租界ノ設置(二八九五)及回收(一九二〇)
 (四) 漢口租界ハ一九二九年ノ協定ニ依リ設置セラレタリ。
 (五) 歐洲大戰ニ際シ支那ハ一九二七年國交斷絶宣言ト同時ニ租界ヲ管理シ嗣デ同年八月宣戰布告ト同
 時ニ一切ノ條約ヲ無効トシタリ。對獨平和條約第三百三十二條及百三十三條ニ依リ租界ノ完全ナル支
 配權ヲ回復スルヤ漢口第二特別區トナシ特別市政ヲ布キタルモ一九二九年二月ヨリ漢口特別市ニ
 編入セラレタリ。
 (六) 關支條約(二八六二)
 (七) 濟波、上海、鎮江、九江及漢口ノ開放(第十條)
 (八) 漢口露國租界ノ設置(二八九六)ト拋棄(一九二四)
 (九) 漢口露國租界ハ一九二六年設置セラレタルガ、支那側ハ露國革命ノ機ニ乘ジ一九二〇年九月露國
 外交官及領事官ノ待遇ヲ停止シ其ノ職權ヲ代行スルモノナリト稱シ漢口及天津露國租界ヲ管理シ
 タル。

S 1.1.1.0 - 27 3906

5008 687

勞農露國政府ハ一九一九年及二〇年ノ對支宣言中特權ノ拋棄ヲ聲明シ、一九二四年ノ露支協定ハ租界ノ拋棄ヲ規定シタル結果支那側ハ漢口租界ヲ特別第三區トシテ特別市政ヲ布キタルモ、一九二九年一月ヨリ漢口特別市ニ編入セラレタリ。

第四、揚子江沿岸地方ニ關係アル國際取極

本項(二)乃至(五)揚子江ニ關スル下謂フヨリ寧ロ揚子江沿岸地方ニ於ケル鐵道鑛山等ニ關シ各自國ノ勢力圍ヲ劃定シタルモノト謂フベキ處ナルモ簡單ニ概説ス。

(一) 英佛間

(イ) 一九〇六年二月ノ英佛宣言書第四條ハ左ノ通規定ス

兩國政府ハ一九〇四年三月一日(英支)及一九〇五年六月二十日(佛支)條約ニ依リ英國又ハ佛國ニ對シ雲南及四川兩省ニ於テ許容セラレタル通商上其ノ他一切ノ特權及利益並ニ將來英國又ハ佛國ニ對シ前地兩省ニ於テ許容セラルベキ各種ノ特權及利益ニ關係ヲ有スル限リ兩國政府國民及所屬民ニ共通ニ均霑セシムベキコトニ同意ス且之カ爲兩國政府ハ清國政府ニ對シ斡旋ノ勞ヲ執ルベキコトヲ約ス。

(ロ) 英佛資本家ノ合作協定

一九〇五年十月二日英佛資本家間ニ協定成立シ(一)支那中央鐵道會社(英系)ノ資本金ヲ増

加シ佛白ヲモ參加セシメ(二)信浦、川漢鐵道等ノ權利ヲ本會社ニ委シ(三)技師、使用人、材料供給等ハ均等トス等ヲ規定シタリ。

(ハ) 漢口租界擴張ノ場合適用スベキ規則ニ關スル交換公文(一九〇九、一九一〇) 擴張區域内ニ在ル他方國民財產ニ關シ(一)國民所將來兩國中ノ一方ガ租界ヲ擴張シタル場合其ノ擴張區域内ニ在ル他方國民財產ニ關シ(二)國民所屬領事館ニ對シテ登錄シ(三)一切ノ公共團體規則ニ適用ニ先立テ相手國ニ通知ス(三)自國領事ガ有效ト認メタル財產權原證書ハ相手國領事ノ認ムルコトノ三件ヲ議定シタリ。

(ニ) 英佛米間

粵漢鐵道其ノ他將來支那ニ於テ獲得スベキ鐵道權利ニ關シ英支會社及米支會社間ニ一九〇九年二月對支共同活動ヲ訂解成立シタリ。

(三) 英獨間

(イ) 一九〇八年九月倫敦ニ於テ英獨資本家ハ左ノ通協定セリ。

(1) 英國ノ利益範圍ハ揚子江ノ流域、揚子江以南諸省、山西省(但同省ト京漢線及揚子江ヲ連絡スル鐵道ヲ含ム)トス。

(2) 獨逸ノ利益範圍ハ山東省、黃河流域(但シ山東鐵道ヲ鎮江又ハ南京ニテ揚子江ニ連絡スルヲ妨グズ)。

S 1.1.1.0-27 3907

688

- (ロ) 團匪事變ニ乘ジ獨逸ハ支那ニ於ケル門戶開放ニ關スル提議ヲ爲シ其ノ結果一九〇〇年十月英獨協商(所謂英獨揚子江協定)成立シタリ。
- (1) 清國ノ河川及沿岸ノ諸港ヲ何國ノ差別ナク一切ノ國ノ國民ノ貿易及正當ノ經濟動運ノ爲ニ開放ス兩國ノ出來得ル限リ此ノ主義ヲ支那全土ニ及ボス旨トニ努力ス。
- (2) 兩國ノ共ニ今次ノ紛擾ヲ利用シテ清國ノ領土ヲ侵ス如キコトナク又共同シテ第三國ノ侵略ヲ防止ス。
- (三) 日米佛露埃伊ニ對シ本原則ノ承認ヲ勸誘ス。
- (四) 英露協商ニ關シテ兩國ノ利益ニ對シテ協定ノ内容左ノ如シ。
- (一) 一八九九年四月ノ支那ニ於ケル鐵道利益ニ關スル所謂「スコット・ムラヴィエフ」協定ノ内容左ノ如シ。
- (1) 露國ハ揚子江流域ニ於テ自國又ハ自國民ノ爲鐵道ニ關スル利權ヲ求メ且英國ノ鐵道企業ニ對シ直接間接ノ妨害ヲ加フルコトナシ。
- (2) 英國ハ長城以北ニ於テ自國又ハ自國民ノ爲鐵道ニ關スル利權ヲ求メ且露國ノ鐵道企業ニ對シ直接間接ノ妨害ヲ加フルコトナシ。
- (五) 甯湘鐵道ニ關スル日英交渉

大正三十二年ノ頃南萍(南昌)萍鄉(南昌)鐵道乃至甯湘(南京)湖南)鐵道問題ニ關シ日英支三國間ニ交渉行ハレ日本ガ甯湘線ノ敷設權ヲ少クモ南萍線敷設權獲得乃至參與ヲ主張シタル際英國ハ揚子江沿岸地方ニ於ケル同國ノ地位ヲ以テ日本ノ南滿洲ニ於テ有スル地位ニ匹敵スルモノナリト爲シ日本ガ南滿洲ニ於テ英國人ノ企業ニ對シ便宜ヲ與フルコトヲ承認スルニ於テハ甯湘鐵道問題ニ付テモ日本ハ參加ニ關シ考量ヲ加フベシト述べタリ。

右ニ對シ日本政府ハ日本ノ南滿洲ニ於ケル地位ヲ到底英國ノ揚子江沿岸ニ於ケル夫レト比較スベキニ非ズ同盟國タル英國政府ニシテ此ノ兩者ノ事態ヲ同一視セントスルハ甚ク遺憾トスル旨表明シタリ。

其ノ後結局日本側ハ本件敷設權ヲ斷念シテ遂ニ大正三年三月五日附在京英大使來翰中ニ於テ揚子江流域ニ於ケル英國ノ利害關係ニ付キ左ノ如ク述べテ其ノ地位ヲ英國政府ニ對シテ承認スル旨ヲ表明シタリ。

「揚子江流域ニ於ケル日本ノ利害關係ナルモ其ノ分量及範圍ニ於テ夙ニ同地方ニ樹立セラル且現ニ日々増進シツル大ナル英國ノ利害關係ト比較シ得ヘキモノニアラス而テ英國政府ノ政策ハ同地方ニ於ケル經濟等殊ニ交通路ニ對スル實權ヲ制握シ單ニ右利害關係ヲ擁護セントスルニ過キ

ス。英國政府ハ揚子江流域ニ於ケル英國ノ利害ニ關係アルモノハ鐵道、土地及鑛山ニ關スル讓與又ハ招商局製鐵所、船渠及新開港場等重要ナル政府事業ニ對スル監督權ヲ包括スル政治の色

彩ヲ帯ヒタル經濟的利害關係ヲ指スモノナリト見解ヲ有ス、云々

(六) 共同租界ニ關スル取極...

(四) 正海共同租界(一八四五)...

(三) 上海共同租界(一八四三)...

(二) 蘇州共同租界(一八四〇)...

(一) 黃浦江改修ニ關スル取極...

章程ヲ公布シ之ヲ共同租界ト定メタルモ...

(七) 黃浦江改修ニ關スル取極...

一、一九〇〇年九月北清事變ニ關スル最終議定書第六條末段ニ於テ「白河及黃浦江ノ水路ハ清國ノ經費分擔ヲ以テ之ヲ改良スルニ...

(三) 改修局(滬浦局)ニ上海交涉使、稅關長及港長ヲ以テ組織ス...

(二) 支那政府釀出年額ハ四十六萬兩トス...

(一) 黃浦江水路改修諮問局ノ設置...

S 1.1.1.0-27 3909 68

690

- (一) 一八六三年伊支條約、一八六五年白支條約
 - (二) 一八八二年伯支條約、一八六三年丁支條約
 - (三) 一八六三年蘭支條約、一八九九年墨支條約
 - (四) 一八四七年諾支條約、一八七四年秘支條約
 - (五) 一八八七年蘭支條約、一八六四年西支條約
 - (六) 一八九〇年瑞支條約
- (尚獨支) 澳洪支各通商條約ハ大戦ニ因リ失效シタリ。
- 一、沿岸貿易ニ關スル最初ノ規定ハ一八四四年望厦條約第三條及黃埔條約第二條ノ規定ニシテ右ハ共ニ外國港及五港中ノ各港相互間並ニ五港相互ノ間ニ其ノ船舶及貨物ヲ以テ隨意ニ往來スルコトヲ得、ハ、ト規定セラレタリ。
 - 一、内地水路航行ニ關スル最初ノ規定ハ英支天津條約第十條ニ依リ揚子江ノ開放(第一節第一參照)ニシテ其ノ後揚子江貿易ノ進展ニ伴ヒ一八九〇年ノ英支(第十條)並一八九〇年ノ日支(第三、七條)及米支(第十二條)各條約中ニ一層完備セル規定設ケラレタリ(第二節第二ノ(五)參照)。
 - (一) 天津條約第三ノ内地水路航行ニ關スル規定(附屬條約自來條約)
 - (二) 一八五八年英支天津條約第十條ニ依リ揚子江ノ開放ヲ約シ、其ノ結果鎮江ハ一八五九年漢口及九

江ハ一八六〇年夫々開放セラレタリ。斯クテ外國船舶ニシテ揚子江ヲ往來スルモノ多キニ及ビ之ガ取締ニ關スル規定ヲ設ケル必要ヲ生シ總理衙門ハ總稅務司(ロバート・ハルト)ニ諮議シ一八六一年左記章程ヲ公布施行シタリ。

(イ) 長江各國通商暫行章程

(ロ) 通商各國通共章程

上述長江章程ハ外國船舶ガ鎮江ヨリ漢口迄ノ間ヲ往來スル場合ノ手續ヲ定メ、通共章程ハ外國商人ガ外國貨物及内國貨物ヲ運送シテ長江ヲ往來スル場合ノ納稅ニ關スル規定ヲ設ケ。

一、一八六二年ニハ長江通商章程及長江收稅章程制定施行セラレタリ。

一、其ノ後貿易ノ進展ニ伴ヒ諸種ノ規定改正ノ必要ヲ生シ、英國ハ天津條約改訂ヲ提議シ一八六九年新條約案(所謂「アルゴック」條約)議定セラレ、外國人ノ内地水路航行權ハ不開港場即内地ニ擴張セラレタルモ本條約ハ遂ニ批准ヲ得ズシテ終レリ。然レ共一八七六年ノ英支芝罘條約ハ其ノ第三款ニ依リ新ニ開港場ヲ增加スルト共ニ揚子江沿岸ニ外國船舶ノ爲大通等ノ立寄港ヲ許容シ且宜昌重慶間ノ航行ニ付規定シタリ(第二節第二ノ(五)參照)。

一、支那政府ニ於テハ揚子江ニ於テ外國船舶ニ刺戟セラレ又ハ之ニ對抗スル爲支那船舶ノ往來盛トナリタル爲之ガ取締ノ種々ノ規定ヲ制定公布セリ。

(イ) 華商購造船隻章程(一八六七)
 (ロ) 同前(一八六七)小火輪請領牌照並施帶渡船章程(一八八四)
 (ハ) 各港往來小輪請領牌照並徵稅鈔章程(一八八四)
 一、其ノ後一八九〇年重慶開港ニ關スル英支協定(第二節第一、六)參照(一八八五年日清媾和條約一八九六年日清通商航海條約等成立シ、外國船舶ノ内地水路航行ニ關スル從來ノ規則ノミニテハ不備ナルヲ免ラザルニ至リ、一八九八年左記規則制定公布セラレタリ。其ハ不備ナル規則ニ關シテハ、
 (イ) 華洋輪船駛赴中國内港章程(一八九八、七、二八)
 (ロ) 内港行輪船補(一八九八、九)
 (ハ) 修改長江通商章程(一八九八、八)
 (三) 長江稅關規則(同前)
 上述各規則ハ何レモ北京外交團及清國政府間ニ交渉ノ結果成立セルモノニシテ、形式的ニハ國內規則ナラズ其ノ實質ニ於テハ國際取極タル性質ヲ有ス。
 一、其ノ後一九〇三年英支通商條約第十條、一九〇三年米支通商關係擴張ニ關スル條約第十二條、同年日清追加通商條約第三條及第八條ヲ以テ内地水路航行ニ關シ規定スルト共ニ前記(イ)華洋輪船駛赴中國内港章程及(ロ)同續補ノ兩者ニ修正ヲ加ヘ追加内地水路汽船航通規則公布施行セラレタリ。

693 0.1.1.1

一、前記各章程ヲ概説スレバ左ノ如シ。
 (イ) 長江通商章程

本章程ハ稅關規則ト共ニ一八六二年ノ長江通商章程及其ノ附屬法タル港則及收稅章程ニ代リ一八九八年八月制定翌九九年四月二日ヨリ實施セラレタリ。
 (1) 締約國船舶ハ、(一)鎮江、南京、無湖、九江、漢口、沙市、宜昌及重慶ノ諸開港場ニ於テハ通商ニ從事シ、(二)大通、安慶、湖口、陸溪口及武穴ハ不開港ナルモ貨客ノ積卸ヲ爲シ、(三)通州、太興、江陰、宜昌、黃子岡、黃州、荊河口及新堤ハ船客昇降所トシ船客及其ノ携帶品(有稅品、無稅品)積卸スルコトヲ得。
 (2) 長江ニ於テ通商ニ從事スル商船ヲ左記三等ニ分ツ。
 一、等 鎮江以上ヲ航行スル海洋航行船舶
 二、等 長江ノ河港若シ上海ト他ノ河港トノ間ヲ往復スル定期河船
 三、等 小形船艇(劃艇、釣船、華式船等)
 (3) 右船舶ノ届出其ノ他ニ關スル一般規則
 (イ) 長江稅關規則
 本規則ハ前述長江通商章程ニ遊ヒ揚子江ヲ往來スル船舶ノ運送スル貨物ニ對スル稅關ニ於ケル納

3912 1.1.1.0

税貨物積換等ニ關スル手續ヲ規定シタルモノニシテ通商章程ト同時ニ實施セラレタリ。

(一) 追加内地水路汽船航通規則

(二) 一八九八年華洋輪船駛赴中國内港章程

(三) 諸港ニ於テ登録セル内外各種汽船ハ爾後内港各地ヲ

往來シ内港貿易ヲナスコトヲ許ス

(四) 内港トハ英支一八七六年芝罘條約ノ内地ノ二字ト同意義ト

ス(註)芝罘條約第三款ニハ「内地」とル語ハ外國貿易ニ開放セラレタル内地ノ諸處並ニ海岸及河

岸ノ諸處ニ適用ス」ト規定セラレタル其ノ他詳細ナル規定ヲ設ケ同積補ハ徵稅ニ關シ規定シタリ。

其ノ後一九〇三年英支一九〇三年日支條約ニ依リ前述二個ノ章程ニ修正ヲ加ヘ十箇條ヨリ成ル

追加内地水路汽船航通規則制定公布セラレタリ。本章程ハ(一)倉庫及埠頭ノ賃借及埠頭ノ築造

(二)倉庫埠頭ニ付テ支那側課稅及支那人使用(三)船舶ノ移轉及日本人ノ内地水路航行ニ關スル

支那會社ヘノ參加(四)禁制品取扱禁止(五)汽船ノ往來シタルコトナキ水路航行其ノ他ニ關シ規定

ヲ設ケ。

尙前記華洋輪船駛赴中國内港章程及同積補ハ本追加規則ニ依リ改メラレザル限り有效ナルモノト

ス。

(二) 内港行輪暫行試辦章程

追加内地水路汽船航通規則第七條及第八條ハ未ダ汽船ノ航行シタルコトナキ内港ニ往來セントス

ルモノ及内地不開港場間ヲ往復シ貿易ヲ專營セントスルモノハ其ニ許可ヲ要スル旨規定アリ其ノ

後斯カル許可ヲ得ントスルモノ續出シタルヲ以テ全文四條ヨリ成ル許可手續規定ヲ制定シタリ。

第四節 外國軍艦ノ航行ト陸戰隊

第一、外國軍艦ノ航行權

一、外國軍艦ノ揚子江航行權ニ關シ特ニ條約上規定シタル條項ヲ存セズ、然レ共外國軍艦ハ沿岸又ハ

開港場ノミナラズ後述ノ特定ノ場合ニハ何レノ港ニモ入港ノ自由ヲ有ス此ノ結果外國軍艦ハ揚子江

ヲ航行シ得ルモノトス。

二、五港開港當時ニ於テ外國軍艦ハ領事ノ職權補佐乃至自國商業保護ヲ目的トシタリ即チ一八四三

年英支五港ニ通商章程第十四條及同年虎門條約第十條ハ其ニ此ノ意味ヲ規定シ、例ヘバ虎門

條約第十條ハ「五港ニハ夫々英國巡洋艦一隻ヲ配シ英國商船乘組員間善良ナル秩序及訓練ヲ

維持セシメ且英帝國臣民ニ對スル領事ノ必要ナル權力ヲ援助セシム、」ト規定シアリ。又二八

四四年佛支黃埔條約第五條ハ右ト略々同様ノ規定ヲ設ケ、其ノ第三十條ハ「凡テ佛國軍艦ニシテ商

業保護ノ爲ニ巡航スルモノハ其ノ寄港スル一切ノ清國港津ニ於テ友好ヲ以テ接受待遇セラレハキモ

ノトス」ト規定セラレタリ。而シテ同年米支望厦條約第三十三條ハ黃埔條約第三十條ト趣旨ヲ同シ

トス。

1.1.1.0 - 27 3913

694 - 0.1.1.1 a

クシ「自國ノ商業ヲ保護スル爲巡邏スル」ト規定セリ。然レテ「自國ノ領土」ト規定セリ。又其ノ第三十條ハ佛支黃埔條約第三十條ノ趣旨ヲ夫々規定シタル處、同年ノ米支天津條約第九條ハ「支那國沿岸又ハ開港場ヲ巡航スル米國國有船舶 (National Vessels) 乃自國ノ商業保護又ハ學術研究ノ爲支那人何レカノ港又其ノ附近ニ到着シタルトキハ、自國ノ規定シ其ノ巡航ノ目的及範圍ハ擴張セラレタリ。然レテ同シク一八五八年英支天津條約第五十三條ハ「英國軍艦敵意ナクシテ入港シ又ハ海賊追捕ニ從事スルトキハ清國皇帝版圖内ノ何レノ港ヲ問ハス之ニ入港スルノ自由ヲ有ス」ト規定セラレ而シテ一八六九年埃支修好通商條約第三十四條モ亦「埃國軍艦ニシテ對敵ノ意志ヲ有セスシテ來航スルモノ又ハ海賊ノ驅逐ニ從事スルモノハ例外ナク清國ノ一切ノ港ニ入港スルノ自由ヲ有ス」ト規定セラレ、外國軍艦ノ地位ハ積極的意義ヲ有スルニ至レリ。

一、外國軍艦ニ關シ一八六二年獨支條約第十條、一八六七年葡支條約第五十條等ノ規定ヲ存ス。
 一、外國軍艦ハ碇泊港ニ於テ秩序維持ニ關スル權利ヲ有スルヤニ付テハ條約上ニ何等ノ規定ヲ存セザルモノ爾來支那ニ於テハ騷擾發生ノ場合概ネ支那官憲ハ其ノ治安維持ノ責任ニ任ズル能力ヲ缺キ、又ハ逃亡スル等ノ爲外國人ノ生命財產ハ危殆ニ瀕シ又或ハ排外運動ニ因リ在留民ニ對シ直接危害ノ

加ヘラルル虞アル等ノ場合外國軍艦ニ於テ非違彈壓秩序維持ニ任ジタル場合少カラズ。
 一、一八〇三年米國軍艦「タイロボス」號ガ揚子江ヨリ鄱陽湖ヲ通過南昌ニ赴キタルニ對シ九江道臺ハ外國軍艦ノ内水航行ハ地方不逞分子ヲ刺戟シ紛擾ヲ醸ス俱アリトテ抗議シタリ。米國側ハ「米國軍艦ノ内水航行ハ既成ノ事實ニシテ且(一)支那ニ於テ合法的業務ニ從事スル米國民ノ生命財產ニ保護警戒ヲ加ヘ常ニ之ヲ觀察シ必要ニ應ジ兵力ヲ派遣スルハ米國軍艦ノ義務ナリト爲シ前記英支天津條約第五十二條及一八六九年埃支條約第三十四條ヲ引用シ抗議ハ一蹴セラレタリ。

第二、陸 戰 隊

一、外國軍隊ノ駐屯ニ關シ條約上ハ義和團議定書ニ依ル北支ニ於ケル交通保護及公使館護衛ノ爲ニスルモノノ外陸戰隊ノ駐屯ニ關シテハ何等規定スル所ナシ然レ共上述第一軍艦ノ保護權ノ結果トシテ從來揚子江沿岸ニ於テモ上陸又ハ常駐スルノ例ニ乏シカラズ。

一、上陸又ハ駐屯ノ前例左ノ如シ。
 (イ) 漢口ノ圍城ニ際シ、一八五二年、英、獨、佛等各國軍艦アリ、明治四十四年十月武昌ニ於テ革命擾亂發生シタル際同地ニハ日、英、獨、佛等各國軍艦アリタルガ、同月十二日各國聯合漢口居留地防衛計畫定メラレシ(最初川島第三艦隊司令官指揮ニ當リ後英國司令官之ニ代レリ)。各租界ハ各自ノ義勇隊ヲ以テ之ヲ守リ軍艦ノ陸戰隊ヲ以テ各領事館

ヲ保護スルコトシ又日本ハ天治ニ陸戰隊ヲ上陸セシメタリ。
 後英國ハ香港ヨリ陸軍ヲ派遣シタルモ間モナク撤退シ、日本モ亦陸軍ヲ派遣シタルガ華府會議ニ
 先チ大正十一年之ヲ自發的ニ撤退シタリ。
 尙其ノ後擾亂ニ際シ屢々之ヲ上陸セシメタリ。一九二七年漢口英租界ノ支那側ニ依ル強力回收モ
 英國陸戰隊ト北伐軍及暴民トノ衝突ニ端ヲ發セリ。
 (ロ) 九 江
 英國陸戰隊上陸セリ。
 (ハ) 南 京
 日、英等陸戰隊上陸ノ前例存ス。
 (ニ) 上 海
 上海ノ事例ハ最モ古シ。一八五三年長髮賊ノ亂ニ際シ英佛等陸戰隊ハ義勇隊ト共同シテ租界ノ防
 衛ニ當リ支那軍ヲ驅退シタリ。
 一九一一年革命ニ際シ佛國陸戰隊先ツ上陸シ米國陸戰隊之ニ次ギタリ。
 其ノ後上海ニハ佛、英、米、伊、日等各國陸戰隊常駐スルニ至レリ。
 事變前租界防衛ニ關シ各國指揮官間ニ一ノ協定ヲ遂ゲ各受持區域ヲ定メ、各國軍必要ノ連絡ヲ保
 証ツモ各自獨立シテ防衛ニ當レリ。

昭和十三年四月

支那現行海關制度沿革概要